

町内会でご近所同士のつながりづくりの大切さを考え、平成30年度に「Fuku² すまいるNet」を立ち上げました。まずは町内会でできる活動として自主防災組織を立ち上げ、既存の高齢者への見守り・声かけ活動の強化に向けて活動を行っています。今後は学生や子育て世代などの若い世代をもっと巻き込んで、日頃から顔の見える関係づくりを強めていきたいと思ひます。



Fuku²すまいるNet
代表 菅沼 俊二氏

まず最初に災害時に支援を必要とする人を把握するため、町内全戸（約450世帯）対象の訪問調査を行いました。その結果、約100人が災害時に支援を希望していることが分かりました。把握した情報を元にリストを作成し、具体的な活用に向けて協議を進めています。

コロナ禍のため町民全体での避難訓練などの実施はまだ難しいですが、避難場所の中学校の確認や、発電機の試運転などを模擬訓練として役員を中心に実施しています。令和4年5月には町内で防災士の資格をもっている方から、災害に備えて日頃からできる対策や、町内で行える取り組みについて学ぶ講習会を開催しました。



発電機の試運転をしている様子



防災士による講習会



参加メンバーの思い

自然を前にして人はちっぽけですが、日頃から備えていれば、少しでも災害を減らす事は可能ですし、自助、共助で助かる命は沢山あると思ひます。また、地域防災を通して町内の方々とのつながりをもっと濃くなれば、普段の暮らしも豊かになるので、そのきっかけになればと思ひます。

防災士 川道 敬太氏



高齢者同士の日頃のつながりが深まるようにと、ふれあい・いきいきサロンやあつ晴れ！もも太郎体操の集まりをしています。今後は訪問調査の結果を日々の活動に反映させて、高齢者に限らず、町内に住む人全員が、日頃から困った時はお互いさまと言えるような町内になればと思ひています。

サロン・みはま 西山 美貴枝氏

支え合い活動に興味のある方は、どうぞお気軽に岡山市支え合い推進員にお声かけください。

お問い合わせ先

- 北区中央事務所 TEL: 086-222-8619
- 北区北事務所 TEL: 086-250-2007
- 中区事務所 TEL: 086-238-9200
- 東区事務所 TEL: 086-942-3260
- 南区西事務所 TEL: 086-281-0027
- 南区南事務所 TEL: 086-263-0012

「これからも広がる“支え合いの輪”」

令和4年7月末現在、岡山市内には62地域に身近な地域の困りごとや支え合いについて話し合う「支え合い推進会議」が立ち上がっています。

長引くコロナ禍ですが、多くの団体が感染対策を講じる等、活動方法を工夫しながら、支え合いの地域づくりをすすめています。

今回はコロナ禍に対応した活動をしている団体について紹介します。詳しくは中面の特集ページをご覧ください！

どのようなときでも、地域や人とのつながりが大切です。つながりを絶やさないよう、お互いに助け合う“支え合いの輪”を広げていきましょう！

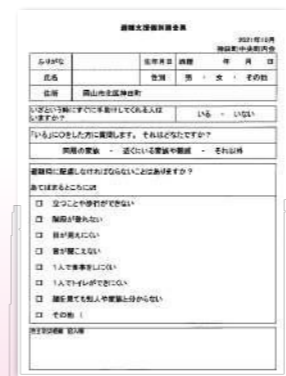


支え合い推進会議を実施している地域

支え合い推進会議紹介

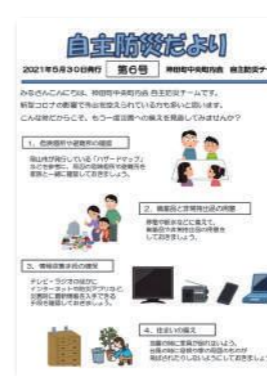
岡南学区神田町中央町内会 自主防災チーム

地区の防災のため令和2年2月に「神田町中央町内会自主防災チーム」を立ち上げました。月に一回、町内会長や民生委員を含む10人程度のメンバーで、戸別訪問や空き家チェックを行いながら見守り方法や要援護者支援について話し合っています。また、町内会の中で防災の意識を高めるために広報誌「自主防災だより」の発行や電子町内会での情報発信もしています。



★避難支援 個別調査票による状況把握

避難する際にサポートが必要なご家庭を把握するために実施しました。集計後は、メンバーが戸別訪問しています。また昨年10月にはさらに避難支援個別調査票による詳しい把握を実施しています。



★自主防災だよりの発行

定期的に防災についての知識などを回覧にてお知らせしています。

★黄色いリボンの取り組み

「うちは大丈夫」の目印に、世帯全員が安全を確保できた家庭は玄関の目立つところにこのリボンをつけます。



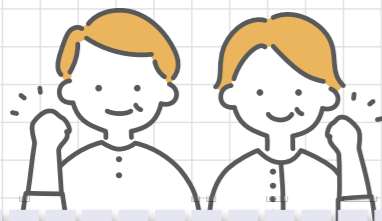
防災部長
鈴木祥成氏

みんな仕事をしながらの活動なので、できる人ができる時に無理なく進めています。防災のことはお年寄りだけでなく若い方の関心も高いので、これを機に世代を超えた町内会のつながりがさらに強まればと思ひています。

鈴木防災部長をリーダーとして、町内で暮らす一人暮らし高齢者や、健康に不安を感じている方々を戸別訪問し状況調査しています。また避難所の確認や防災グッズの保管場所を確保することも進めています。最近では電子町内会を開設しました。今後もできるだけ多くの住民に情報発信していきたいと考えています。



神田町中央町内会
会長 藤井敏明氏



活動紹介 ~コロナ禍でのつながりづくり~

新型コロナウイルス感染症に関する最新情報は岡山市HPよりご確認ください。

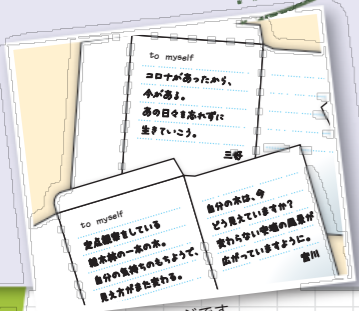


活動場所を変更

以前は屋内で実施していたサロン活動を、コロナ禍のため屋外（川崎病院横の深抵ガーデン）に変更して実施しました。青空の下、みんなで体操をしたり、ガーデン内を散策して綺麗な花や木を見ながら自然を楽しみました。

また会の後半には、新型コロナウイルス感染症収束後の自分に向けてお手紙を書き、一人ずつ手紙の内容を紹介しながら、1日も早く安心してサロン活動を実施できる日が来るように祈りました。

基本的な感染対策を徹底し、工夫をしながらコロナ禍でも無理なく、できることを楽しんでいます。



※イラストはイメージです



活動場所を変更



「いきいきサロンおもいやり」ではいろいろな工夫を凝らしてサロン活動を行っています。

ここ数年新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の為、「3密は避けましょう。」「会場内で大きな声は自粛しましょう。」「室内での活動は制約だらけ。」「だったら、屋外でサロン活動しようよ。」「との発想で近くの駐車場を借りて屋外活動を始めました。

軽スポーツ（ディスコン）はもとより、歌謡ショーさらにはカラオケ大会も駐車場で行っています。天気の良い日は冬でも屋外活動をしています。

「子どもは風の子、大人は火の子」と言われていますが、古都では「大人も風の子」で頑張っています。



見守り活動の開始



年1回、コロナ禍でサロンをお休みしている人の見守りと安否確認を兼ねて訪問しています。令和3年度は、サロンで作った牛乳パックの小物入れを一緒にお渡ししました。1年ぶりに顔を合わせる人もいて、とても喜ばれました。高齢になると、だんだんサロンに行くことが難しくなってくる人もいますが、少しでもつながりを持ち続けられたらと思います。

飛沫防止パネルの設置



以前は「妹尾子ども食堂」と一緒に開催し、子どもから高齢者まで幅広い世代が集まって開催していました。コロナ禍であっても、サロンを楽しみにしている方のために開催したいという思いから、現在はサロンのみ開催しています。ボランティア袋を活用した飛沫防止パネルは、サロンに安心して参加してもらえるようにスタッフが手作りしました。スタッフのアイデアや特技を活かし、無理せずできることをコツコツと続けながら、活動を続けています。



御津元気食堂は御津学区栄養改善協議会の有志のみなさんと、地域のボランティアさんが中心となって平成29年から月1回活動を行っています。

気軽に集まれる食堂をすればみんながわいわい賑わえるのではないかと、コミュニケーションが取れて心が晴れやかになるのではないかと思い元気食堂を始めました。

当初は会食方式を取っていましたが、コロナ禍になり、お弁当の配布に変更し活動を継続しています。お弁当になっても10品目を目指して盛りだくさんの内容です。「いつも今月の献立は何かな〜と楽しみにしているよ」とお弁当を受け取った方が笑顔で教えてくださいました。



お弁当配付に変更



新聞の発行開始



サロンを開催できない月にメンバーへ原稿依頼シートを配布し、寄せられたメッセージをまとめて笑話館（しょうわかん）新聞を発行しています。「コロナ禍のうっぴんを晴らしたい!」という思いで始めました。書いてもらったものは全て載せています。笑い文字やイラストの投稿もあります。ワープロ書きを避け、手書きをそのまま載せることでみんなの笑顔と人柄が浮かび元気が出ます。